



多摩川の河口でシジミを獲るホームレスの老人。

彼は捨てられた十数匹の猫を殺処分から救うため、日々世話をしながら干潟の小屋で10年以上暮らしている。本作は、変わりゆく環境の中で懸命に猫たちと生きる老人の姿を描くと共に、彼の波乱に満ちた人生へも分け入っていく。

昭和から平成、そして令和へと時代が移ろうなかで、都市の“最下流”多摩川の河口から、一人の人間の生き様を追いつつ、環境破壊・高齢化社会・格差問題・ペット遺棄など、様々な日本の現在を浮き彫りにする。

令和2年

4月4日(土) 午後1時30分～
午後4時15分

会場 南田中図書館2階会議室 定員 45名

申込方法 電話または南田中図書館カウンターにて受付

上映終了後、村上浩康(むらかみ・ひろやす)監督と、四方繁利(よも・しげとし/映像文化批評家)氏による対談解説を行います。

とうきょう 東京干潟

(2019年/本編83分)

村上浩康 監督
むらかみ・ひろやす

昭和41年9月11日宮城県仙台市生まれ。映像制作会社勤務・フリーランスを経て、平成13年よりドキュメンタリー映画の製作を開始。

代表作に「流ながれ」「小さな学校」(平成24年)、南田中図書館でも上映を行った「無名碑 MONUMENT」(平成28年)など。

本作「東京干潟」は、多摩川流域のカニの生態を調査する男性を追う「蟹の惑星」(平成31年)と同時上映された。

▼「蟹の惑星」より



練馬区立南田中図書館
練馬区南田中5-15-22/☎03(5393)2411